

災害時 安全に屋外へ避難するために

避難誘導灯の 効果的な配置提案

「もし屋内で災害に遭遇したら」建物内から何を頼りに避難しますか？避難する際、壁などで出口が見えない場合は、誘導灯がないとどう行動したらいいのかわかりません。私は、従来は人間が判断していた作業を自動で行う「避難誘導灯の効果的な配置」について研究しています。コンピュータ上で建物内を矩形分割することで、死角を作らない避難誘導灯の配置が可能となり、また、マルチエージェントシミュレータを用いて避難現象を再現して検証したところ、単に近い出口へ誘導するのではなく、出口の大きさに応じた誘導を実施する方がより効率的であることがわかりました。これらのことから、建物内のすべての地点から誘導灯を見ることができ、また避難効率を考慮した誘導方向の配置手法を提案しています。熊本地震を経験した私たち。犠牲者を減らすためには、適切な避難行動をとることができる環境整備が必要不可欠です。皆さんが安心して暮らすことができるように、いざという時に役立つ研究を続けていきます。

情報学部 情報学科 **尾崎 昭剛** 助教



崇城大学

SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部	工学部			情報学部	芸術学部			
薬学科	応用微生物 工学科	応用生命 科学科	機械工学科	ナノサイエンス 学科	建築学科	宇宙航空 システム工学科	情報学科	美術学科	デザイン学科

〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1

問い合わせ(入試課直通) TEL:096-326-6810

そうじょう大学 [検索](#)